



# 夢清らかに 今庄っ子

今庄小学校 学校だより 第37号 ~ 令和5年11月10日

## 6年生ふるさと学習つるし柿

9日に「つるし柿作り」の体験のため孫谷の澤崎信雄さんのお宅に伺いました。初めに澤崎さんからつるし柿作りがいつ頃から始まったのかやどこで作られているかなどのお話がありました。つるし柿作りには12の工程があり、そのうち「肩まわし、縦むき、縄つけ」と言われる作業を行いました。皮むき器を初めて持つ子も多く、柿を回しながらむくことに最初はなかなかうまくできないようでしたが、丁寧に教えてくださり少しずつ上手になっていきました。中にはすでに経験していた子もいて、その手さばきを見ると「経験していることは大きいなあ」と感じました。その後むいた柿を縄に取り付けました。それらは乾燥、天日干しなどの作業を通しておいしいつるし柿になるそうです。つるし柿作りの工程の中でこれは子供の仕事というのもあったそうで、家族で取り組む様子が目に浮かび、温かな雰囲気の中での活動となりました。澤崎さん、ありがとうございました。



## 校内授業研究会~1年~

8日に1年生での校内授業研究会を行いました。道徳の「はしのうえのおおかみ」(内容は下参照)という



うさぎが谷川の一本橋を渡りかけると、対岸からおおかみがきて、うさぎをにらみつけて「もどれ、もどれ」といった。うさぎはすずすと後ろへもどった。おおかみは意地悪がおもしろくなり、橋を渡ろうとする動物たちを次々と追い返す。ある日、おおかみは橋の真ん中で大きくまと出会う。おおかみはあわてて、「どうぞ、お先に。」と言うと、くまはおおかみを抱き上げ、反対側にそっとおろした。おおかみはそれから、動物たちを優しく抱き上げて渡してやるようになり、意地悪をしていたときよりもずっといい気持ちになった。

題材で、「親切、思いやり」について考える内容でした。ペープサートを使ってお話ししたり役割演技を入れたりさまざまな工夫がなされていました。終始ほのぼのとした雰囲気の中、子供たちは自分の思いを素直に発表していました。そして親切をすると「相手がうれしいし、自分もうれしくなる。」「みんなの心がつながる。」など、親切をする良さを感じることができていました。その思いを今度は秋のフェスティバルにつなげたいと考えていました。

## 今庄地区文化祭での発表~3年~

5日に行われた今庄地区文化祭のステージ発表に3年生が参加しました。合奏に歌、踊りと盛りだくさんの内容で、子供たちは1ヶ月前から練習に取り組んできました。自分たちのめあてをしっかりと持ち、熱心に練習に取り組んでいました。2日には全校の前でリハーサルを行い「緊張する」と話していましたが、大変堂々とした態度で「これなら本番も大丈夫だ」と確信しました。迎えた本番も練習以上の力を発揮し、会場が一体とり、熱気があふれた中での発表となりました。子供たちの成長を感じた発表で、これからがまた楽しみになりました。3年生の皆さん、よく頑張りました。



### 読み聞かせ

9日に読み聞かせがありました。



<読まれた本> とびません。 かのしょうばい 地獄めぐり